



～認知症になっても安心して暮らせるまちをめざして～

認知症についてのホームページ

認知症ほっとけんまちマップ をご利用ください!

皆さん、認知症は病気だということをご存じですか？ 自分や家族が認知症になったとき、相談できる人や場所はとても大切です。

「認知症ほっとけんまちマップ」って？

「認知症ほっとけんまちマップ」では、認知症になってもみんなが安心して暮らしていくために、認知症に関する知識や相談できる場所など、必要な情報を掲載しています。

どうやったら見られるの？

市ホームページから「認知症ほっとけんまちマップ」で検索してください。

紙面パンフレットも検討中!

パソコンを利用されない方のために、紙面パンフレットの作成を予定しています。



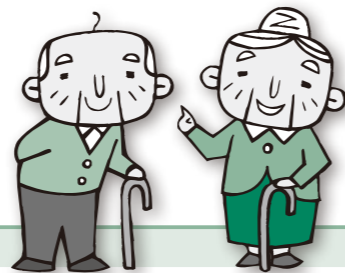
認知症ほっとけんまちマップ

検索

敦賀市 地域包括支援センター

市内に3箇所配置されており、介護に関する悩みのほか、医療や福祉（虐待、成年後見制度等）、生活のことなど高齢者に関する相談を受け付けています。

松原・西浦・中郷・愛発・栗野地区	北・南・西・東浦・東郷地区
敦賀市地域包括支援センター「長寿」 敦賀市役所 福祉保健部 介護保険課内 敦賀市中央町2丁目1-1 ☎22-8181	敦賀市地域包括支援センター「あいあい」 敦賀市福祉総合センター「あいあいプラザ」内 敦賀市東洋町4-4 ☎22-7272
包括支援センター「和(なごみ)」 (「長寿」サブセンター) つるが生協在宅総合センター 和 内 敦賀市公文名1-6 ☎21-8181	



問合せ 地域包括支援センター「長寿」(介護保険課内) ☎22-8181



～まちの安全を見守る目～ 交通指導員さん

毎日街頭に立ち、交通事故が起きないか、登下校中の子どもたちに危険がないか、目を光らせている交通指導員さんたち。地域の安全のために日々活動している交通指導員さんについてご紹介します。

交通指導員とは？

- ▶昭和42年に設置され、児童生徒の安全の確保や交通事故の防止、交通安全意識の普及・高揚などのために活動している。任期は2年で、現在の人数は70人。
- ▶市内在住または在勤の70歳未満の方で、各地区にいる交通指導員地区会長と区長の推薦があれば、誰でもなることができる。

こんなことをしています!

- 児童生徒の通学時の街頭指導
- 敦賀マラソンや敦賀まつりなどのイベントでの交通整理
- 各地区での交通安全教室や交通安全茶屋の開催、啓発活動 など



交通指導員連合会会長
よしじ
森田吉二さん
にお話を聞きました!



街頭指導



啓発活動

Q.交通指導員になろうと思ったきっかけは？

私が交通指導員になったのは16年前ですが、当時は1つの集落から1人交通指導員を出していました。そのとき私は消防団の副団長もやっていた、とても正義感に燃えていたことと、自営業だったので昼間に時間があつたということもあって、自分がやろうという気になりました。

Q.この活動のやりがいは？

登下校のときに、子どもたちが私の顔を覚えてくれて、声をかけてくれることですね。雨や雪の日もありますが、私が立っていないときにもし何かあつたら…と思って立っています。それから、交通事故の恐ろしさや、事故にあつた家族のその後の生活がどれほど悲惨かをたくさん見てきましたから、事故や違反は絶対に駄目だと思いますし、皆さんにそういうことを伝えていけるというのも大きいですね。

Q.苦労していることは？

人手が足りないことです。指導員の定員は125人ですが現在70人しかおらず、その半数が60歳以上で、4

年後には20人が定年になってしまうので、新しい人たちが必要なんです。指導員が制服で道に立つだけで、ドライバーの意識は変わります。敦賀にも危険な場所がたくさんあるので、なるべく多くの指導員に立ってもらいたいけれど、人数不足でなかなかできないんです。このまま指導員の数が減ってしまったら、とても心配です。

Q.今後の目標は？

もっとたくさんの若い人たちに指導員になってもらうことです。まちの安全を守る重要な役割として、やる気を持ってやってもらえたらと思います。あと、女性にも是非やってもらいたいです。自分の子どもが事故にあうかもしれないと思ったら、無関心ではいられないはずですから。交通安全がどうでもいいと思う人はいないと思いますし、1人ひとりが交通安全の意味を考えて欲しいなと思います。交通指導員は、まちを支えるとてもいい仕事だと思いますよ。指導員のことを皆さんにもっと知ってもらって、大事な役割だと思ってもらえれば嬉しいです。



問合せ 生活安全課 ☎22-8115